



第7回 協力会社改善事例発表会

天井内先行配線の工法の改善

広島支店真栄会 建築部会

(株)中電工



1. はじめに

天井内先行配線とは、

軽天工事までの先行粗配線

脚立等にて昇降と移動を繰り返し
ながら配線作業を行う

2. 動機・ねらい

従来の天井内先行配線の一例



2. 動機・ねらい



問題点

軽天工事までの配線作業の
時間が少ない

脚立作業で昇降・移動が多く
作業効率が低い

脚立上作業で体勢を崩し、
墜落・転落の恐れがある

2. 動機・ねらい



配線作業に時間がかかる

施工方法の改良を検討

検討課題

作業効率UP

脚立を使用しない

1人で作業可能

配線作業改良工具の開発

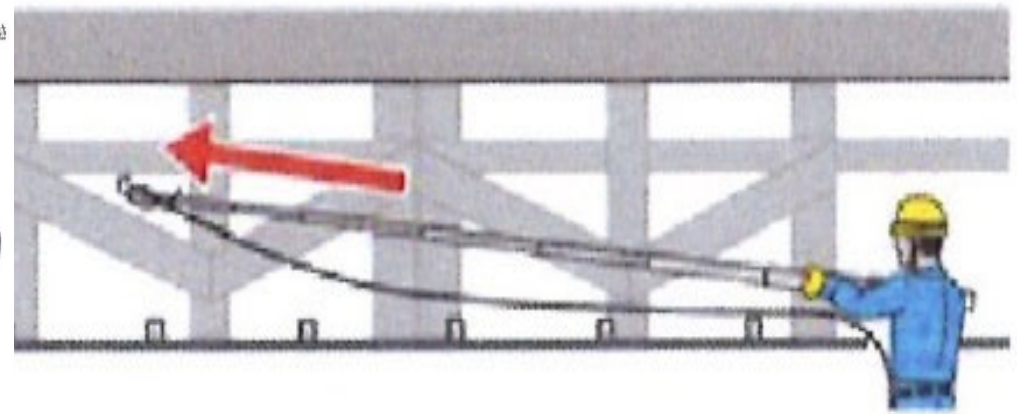
3. 実施概要

配線作業用改良工具の作成

ケーブルキャッチャー

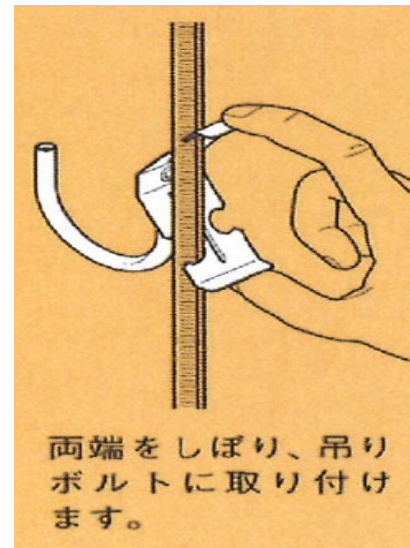
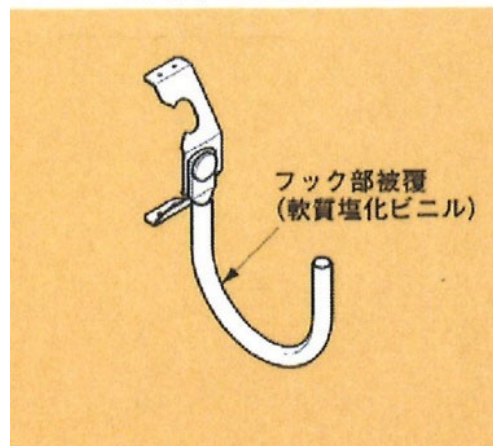


ケーブル送り・ケーブル索引作業



ケーブル支持金具

吊りボルトや丸鋼にケーブルを支持する金具です。



3. 実施概要

改良施工用の工具作成



汎用品で簡単に作成が可能

復旧・分割が可能でコンパクト化

3. 実施概要

改良工具での施工方法



床面で粗配線を行う

配線を改良工具（ケーブルキャッチャー）に引っ掛ける

天井ケーブル支持金具に乗せながら配線作業を行う

3. 実施概要

現場での検証



3. 実施概要

現場での検証





4. 効果

現場での評価

脚立等の昇降と移動を繰り返さないので、
作業効率が向上

脚立等の昇降が少なくなるので、
墜落・転落の恐れが少ない

1人作業が容易(作業の短縮化)

4. 効果

現場での評価（懸念事項）

他業者と輻輳する場合、なかなかスムーズに作業出来ない場合がある

ある程度広い範囲でないと効果が少ない

床に置いてある材料、工具置き場等と干渉する恐れがある



5. 感想他

今後、現場にて積極的に使用してもらい、作業性・耐久性・安全性などについて意見を頂ければと思います。

更なる検証を重ねて、標準化・水平展開を目指します。